



## 飛躍の年！挑戦の年！

4月7日に第153回入学式が挙行されました。79名の新入生を迎え、令和8年度がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様に支えられてのスタートとなりましたが、今年は昨年以上に子供たちにとって、安心・安全な学校をめざし、職員一丸となって尽力してまいります。今年度も学校教育活動に御理解と御協力をお願いします。

さて、79名の新入生が入学しました。大きな希望と期待を胸に入学した79名の気持ちをしっかりと受け止め、全職員が全力を挙げて学校教育を進めて参ります。1年生は何にでも興味関心を示し、多くのことを吸収するときです。また、私たち大人と違い既成概念にとらわれず自由な発想で物事を感じることができます。いつまでも好奇心旺盛な自由な気持ちを持ち続けてほしいですね。しかし、反面不安もあるかもしれません。「友達ができるかなあ」「勉強についていけるかなあ」等、その不安は多岐にわたっていると思います。一つ一つを子供たちと一緒に考え、少しでも早く学校生活に慣れ、日々の生活が楽しいものになるようにしていきます。御家庭においても不安を少しでも取り除いていただけるよう、言葉かけをお願いいたします。2年生以上も学年も上がり、新たなスタートとなりました。何事にも挑戦する年にしてほしいですね。今だからできること、今でなければできないことも多くあります。二度と戻ることのできないこの時期に多くのことに挑戦し、飛躍の年にしてほしいと思います。私たち職員も、子供たちの気持ちを大切にし、一緒に目標に向かっていきたいと思っています。

さて、南アルプス市ではすべての中学校区において、小中一貫校として小中連携を行っています。楡形地区においても小中一貫校として7年目のスタートとなり、様々な形で小中連携の取り組みを行っています。小学校においては、小学校卒業を目指すわけですが、さらにその3年後の中学校卒業まで見据えた教育を行っています。中一ギャップの解消はもちろんのことですが、義務教育9年間の大きな流れや継続性を大切にしています。確かに小学校と中学校ではいくつかの違いや、発達段階も違います。例えば制服の着用など、元々の文化として違うこともあります。しかし、同じ義務教育として学校教育において目指すべき方向に違いはありません。大きな流れは学校教育の本流として流れているわけですが、できる限り子供たちの考えや発想も取り入れ学校運営に反映していきたいと考えています。今は「正解」がない時代です。だからこそ、子供たち、教師にとって安心・安全に過ごすことができる学校であるため、そして、令和の時代に合った学校であるための改革の時でもあります。小笠原小学校が大きく前進するため、保護者の皆様、地域の皆様、そして、子供たちとしっかりと気持ちを共有し、今年1年が飛躍の年になることをお約束します。保護者の皆様、地域の皆様も含めてのチーム小笠原です。よろしくをお願いします。また、学校に対しての御意見や御感想など、お気軽にお寄せいただきたいと思います。全ては子供たちの健やかな成長のためにです。